



「昭和維新運動とアジア主義」

筒井 清忠

帝京大学文学部日本文化学科 教授

大正半ばに始まる昭和維新運動は、老壮会・猶存社から行地会などを経て五・一五事件・血盟団事件・二・二六事件へと至る。その思想的中心人物は北一輝・大川周明・満川亀太郎らであった。また実際の運動を担ったのは青年将校・農村青年・下町青年らであったが、彼らを捉えたのはどのような思想と現実であったのか。アジア主義とのかかわりに留意しつつその展開を考察してみたい。



日時：2014年5月28日(水) 18:30~20:30

場所：法政大学市ヶ谷キャンパスポアソナードタワー25階 B会議室
司会：王 敏(法政大学国際日本学研究所専任所員、教授)

参加申込：以下の申込専用フォームからお申込ください

<https://www.event-u.jp/fm/10386.html>

